

漁業法(昭和24年法律第267号)第58条において読み替えて準用する同法第42条第1項の規定により、北海道漁業調整規則(令和2年北海道規則第94号)第5条第1項第9号に掲げるきちじ固定式刺し網漁業(オホーツク総合振興局管内沖合海域)について、その許可または起業の認可をすべき船舶等の数及び船舶の総トン数その他措置並びに許可又は起業の認可を申請すべき期間を次のとおり定めた。

令和5年12月22日

北海道知事 鈴木 直道

制限措置						許可又は起業の認可を申請すべき期間	備考	
(1)漁業種類	(2)操業区域		(3)漁業時期	(4)許可又は起業の認可をすべき船舶等の数	(5)船舶の総トン数			(6)漁業を営む者の資格
きちじ固定式刺し網漁業	オホーツク総合振興局管内沖合海域	東経143度89.8分の線以東、最大高潮時海岸線上斜里・目梨両郡界から32度30分のオホーツク総合振興局沖合海域のうち、我が国の領海及び排他的経済水域内の海域。 ただし、北海道漁業調整規則第32条第1項に基づく別表第3に掲げる北緯44度33分9秒以北の東経145度37分45秒の線以東の海域を除く。	毎年、4月1日から翌年3月31日まで	2隻	総トン数20トン未満	オホーツク総合振興局管内に住所を有する者	令和6年2月1日から令和6年3月1日まで	<p>1. この公示に係る許可の有効期間は、令和6年4月1日から令和9年3月31日までとする。</p> <p>2. この公示に係る起業の認可の有効期間は、令和6年4月1日から令和7年3月31日までとする。</p> <p>3. この公示に係る申請書の提出先は、オホーツク総合振興局産業振興部水産課とする。</p> <p>4. この公示に係る許可には、おおむね次に掲げる内容の条件を付けることがある。</p> <p>(1)天災、その他特別な理由による場合を除き、〇〇港以外に漁獲物を陸揚げし、又は他の船舶に転載してはならない。やむを得ない事由により、〇〇港以外に漁獲物を陸揚げし、又は他の船舶に転載する場合は、その都度、オホーツク総合振興局長に報告しなければならない。</p> <p>(2)海中に敷設する漁具の数は次のとおりとする。 刺し網は5放し11,000メートル以内</p> <p>(3)使用する刺し網の網目は、結節から結節までの長さが42ミリメートル以上、56.5ミリメートル未満でなければならない。</p> <p>(4)海中に敷設する漁具の各のしの両端には、漁船名及び許可番号を明瞭に記載した標識を付けなければならない。</p> <p>(5)さけ・ます、つば及び次に掲げるかきが採捕された時は、できる限り損傷しないように速やかに海中に戻さなければならない。 ア 甲長8センチメートル以上のけがにの雄がに イ 甲幅8センチメートル以上のはなさがにの雄がに ウ たらばがに エ あぶらがにに オ ずわいがに カ ベにずわいがに</p> <p>(6)5月1日から6月15日までの間、なまこが採捕された場合は、できる限り損傷しないよう速やかに海中に戻さなければなりません。</p> <p>(7)きちじ以外の魚種を主たる漁獲の対象として操業してはならない。</p> <p>(8)知事が漁業調整上操業に関し必要な事項を命じたときは、これに従わなければならない。</p> <p>(9)我が国領海及び排他的経済水域以外に立ち入ってはならない。</p>